# ○ 令和６年度　長崎県立鳴滝高等学校定時制夜間部「ふるさと教育」体系図

学校番号　１０１

| | |
|---|---|
| テーマ | 将来地域で活躍できる高校生育成のための「ふるさと教育」 |
| 目　標 | 地域自治体や地元の専門機関等と連携し、講演会や講習会を通して、地域の魅力や地域が抱える課題を知り、テーマを決めて学習活動に取り組み、結果を地域に発信する。活動全体を通して、郷土を愛する心を育み、将来地域に貢献できる人材を育成する。 |
| 育成したい資質・能力 | ・ふるさとへの愛着と誇り　・学びに向かう主体性・協働性　・思考力、判断力、表現力　・ふるさとの未来を担う志 |

## 外部連携機関（行政機関・事業所）

○長崎県庁　産業労働部　未来人材課
○長崎県庁　農林部　農産園芸課
○長崎市役所　企画政策部　広報広聴課
○長崎市役所　文化観光部　文化財課
○長崎県教育委員会
○長崎平和推進協会
○長崎市地球温暖化防止活動推進センター
○鳴滝地区自治会

連携

協働

## 長崎県立鳴滝高等学校定時制夜間部（普通科・商業科　１、２、３、４年次生　３７名）

《校内組織》人権教育推進委員会・「総合的な探究の時間」検討会議
《委員長》夜間部教頭　《副委員長》教務主任
《委員》教頭・教務主任・進路指導主事・カウンセラー主任・生徒会主任・各学年次主任・教務係

《主な取組》

○「鳴滝地区を知ろう」
・地域社会の一員として社会の中で生活し、また地域に貢献していくために、まず自分が学んでいる学校周辺の地域について、テーマを決め研究する。（地域へのアンケートや地域の方による講話会を実施）
・研究した内容を地域の方々に発信する。（文化祭や地域開放型図書館にて掲示）

○「長崎の伝統的な文化について学ぼう」
・長崎の伝統的な文化について、テーマを決めて学び、伝統をつないでいくために自分たちに何ができるのかを考える。（講師による講演会や講習会を実施）
・研究した内容を地域の方々に発信する。（文化祭にて発表及び掲示）

○進路講演会
・本県の人口減等の現状を知り、本県で働くことの意義や本県の暮らしやすさ等を理解し、県内就職を喚起する。（講師による講演会を実施）
・職業指導のエキスパートである講師の方々の講義を聴くことにより、就職や進学に対する意識・知識の向上をはかる。（主に長崎市内の専門学校の講師による講演会を実施）

○心に響く人生の達人セミナー
・県内にゆかりのある講師の話を聞くことにより、実社会で生き抜くために必要なたくましさ、また、郷土の魅力について学ぶ機会とし、職業観や人生観を醸成する。

○平和学習
・原爆の実態を知り、被爆者の方々の思いを共有するとともに、命・平和・人権を大切にする心を育てる。（平和標語コンクールや被爆体験者による講話会を実施）

《成果指標》
・ふるさとに対する興味・関心及びふるさとを愛する意識が高まった生徒の割合　（生徒アンケート結果８５％以上）
・県内就職をしたいという意識が高まった生徒の割合　（生徒アンケート結果８５％以上）

連携

協働

## 外部連携機関（大学・専門機関）

○長崎県内各専門学校
○長崎県内各大学・短期大学